

漢字学総論 I

■漢字の基礎知識

- 1 漢字の構造（部首・音符・意符）・漢字の表記としての漢字（形・音・義）
- 2 六書（造字法と用字法による漢字の分類）象形・指事・会意
- 3 六書 形声・転注・仮借
- 4 漢字の音（呉音・漢音・唐音・慣用音・中国語現代音など）
- 5 音韻的特徴（単音節・声調）文法的特徴（孤立語）
- 6 漢字の訓（本義・初義・派生義・訓詁と和訓、熟字訓）
- 7 日本における漢字（万葉仮名・記紀の訓）
- 8 仮名（平仮名・片仮名・草仮名）国字（日本で作られた漢字）
- 9 熟語とは何か（二字熟語・連文の構造）
- 10 故事成語

■漢字の歴史

- 1 漢字の誕生と集積（誕生から『説文解字』まで）
- 2 漢字の安定（石経・玉篇・康熙字典など）
- 3 甲骨文の発見と漢字研究の進化と
- 4 日本における漢字の受容と普及との略史（古字書の紹介など）

■中国古代文字

- 1 甲骨文・金文とは何か①
- 2 甲骨文・金文とは何か②
- 3 甲骨文・金文とは何か③
- 4 篆書・隸書など

■辞典

- 1 漢和辞典の紹介（小学生用から社会人用まで）・漢和辞典の引き方（部首・音訓・画数・字体・四角号碼・今昔文字鏡・電子辞書・索引など）・小学生への引き方の訓練
- 2 漢漢辞典の略史（爾雅・説文解字・玉篇・字彙・康熙字典・佩文韻府・辞源・国語辞典など）

漢字をきわめ、教える力へ。



漢字学総論Ⅱ

■漢字の音について

- 1 中国音韻学略説①
- 2 中国音韻学略説②
- 3 韻書を中心に
- 4 中国漢字音と日本漢字音と

■「訓」について

- 1 白川静著『字訓』
- 2 訓点の成立（文法的構成と方法と）
- 3 訓読の発展（漢文訓読の本質）①
- 4 訓読の発展（漢文訓読の本質）②

■『説文解字』

- 1 『説文解字』とは何か①
- 2 『説文解字』とは何か②

■『字彙』『康熙字典』

- 1 『字彙』『康熙字典』の意義と価値

■漢字とその他の古代文字

- 1 漢字、ヒエログリフ、楔形文字など

■書体の変遷

- 1 字体・書体とその変遷との略史（金文・篆書・隸書）
- 2 字体・書体とその変遷との略史（行書・草書・楷書）
- 3 繁文・省文、正字体・異体字（俗字・略字・譌字）
- 4 常用漢字、簡体字（現代中国の略字）

■漢字と印章

- 1 印章に見る漢字の字体

■漢字の文化

- 1 書作品の鑑賞（曹全碑、蘭亭序、九成宮醴泉銘）
- 2 篆刻、古銭、呪符、対聯など（書作品以外の文字文化）

■書道と漢字教育

- 1 書技能から美術へ

漢字をきわめ、教える力へ。



漢字学各論 I

■白川文字学

- 1 白川文字学の成立と特色
- 2 載書 I
- 3 載書 II
- 4 人体 I
- 5 人体 II
- 6 祭祀 I
- 7 祭祀 II
- 8 軍事
- 9 都邑と道路
- 10 人の一生 I
- 11 人の一生 II
- 12 呪術
- 13 歌舞
- 14 裁判と刑罰
- 15 農耕
- 16 医術と犬牲
- 17 水と火の民俗
- 18 天象・方位
- 19 白川静著『字統』『字通』と漢字教育

■白川学略論

- 1 中国古代文化に対する白川学の解釈

漢字をきわめ、教える力へ。



漢字学各論Ⅱ

■日本の漢字学

- 1 藤堂明保の研究を中心に
- 2 加藤常賢の研究を中心に
- 3 島邦男の研究を中心に

■国語政策における漢字政策

- 1 幕末・明治期から昭和20年まで
- 2 昭和20年から現在まで

■現代日本における漢字

- 1 「当用漢字表」「常用漢字表」などについて
- 2 同音異義・同音の漢字による書き換えなど
- 3 歴史的仮名遣い・現代仮名遣い・送り仮名の原則と問題点

■デジタル情報化社会における漢字

- 1 J I S 漢字コード、Unicode、「表外漢字字体表」など

■これからの漢字教育

- 1 小学校の場合
- 2 中学校・高等学校の場合
- 3 石井勲の漢字教育など

■漢文への広がり

- 1 教科「漢文」の変遷、新指導要領の「漢文」、漢文教育の意義

■漢字文化圏

- 1 中国・台湾・韓国等の漢字事情と、漢字・漢文を用いた交流例

■英語による漢字教育

- 1 英語による漢字教材の紹介など

■漢字の創作

- 1 漢字の創作

■演習

- 1 「漢字探検隊」人体からできた漢字
- 2 「漢字探検隊」動物からできた漢字
- 3 「漢字探検隊」酒からできた漢字
4. 「漢字探検隊」神に関わる漢字

漢字をきわめ、教える力へ。

